

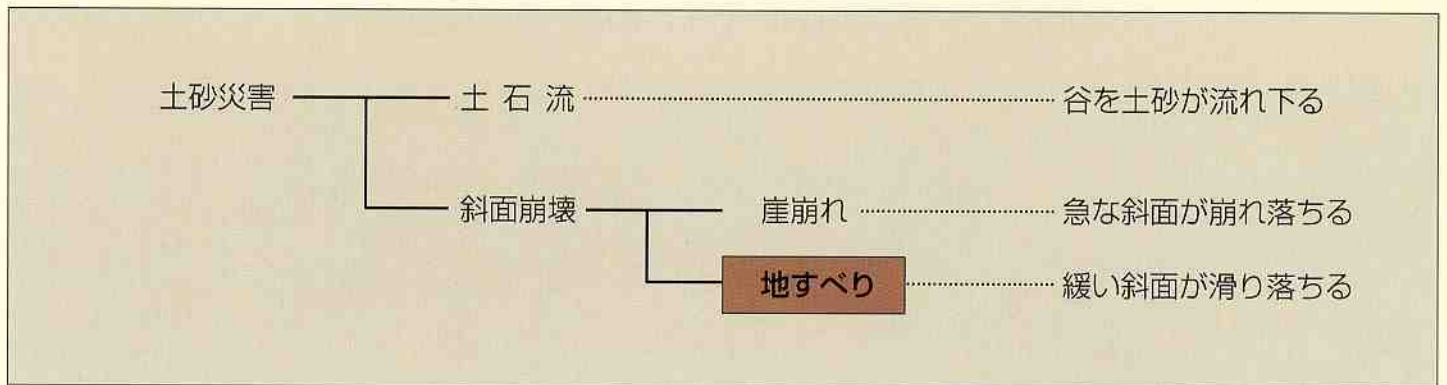
中山間地農業と土砂災害

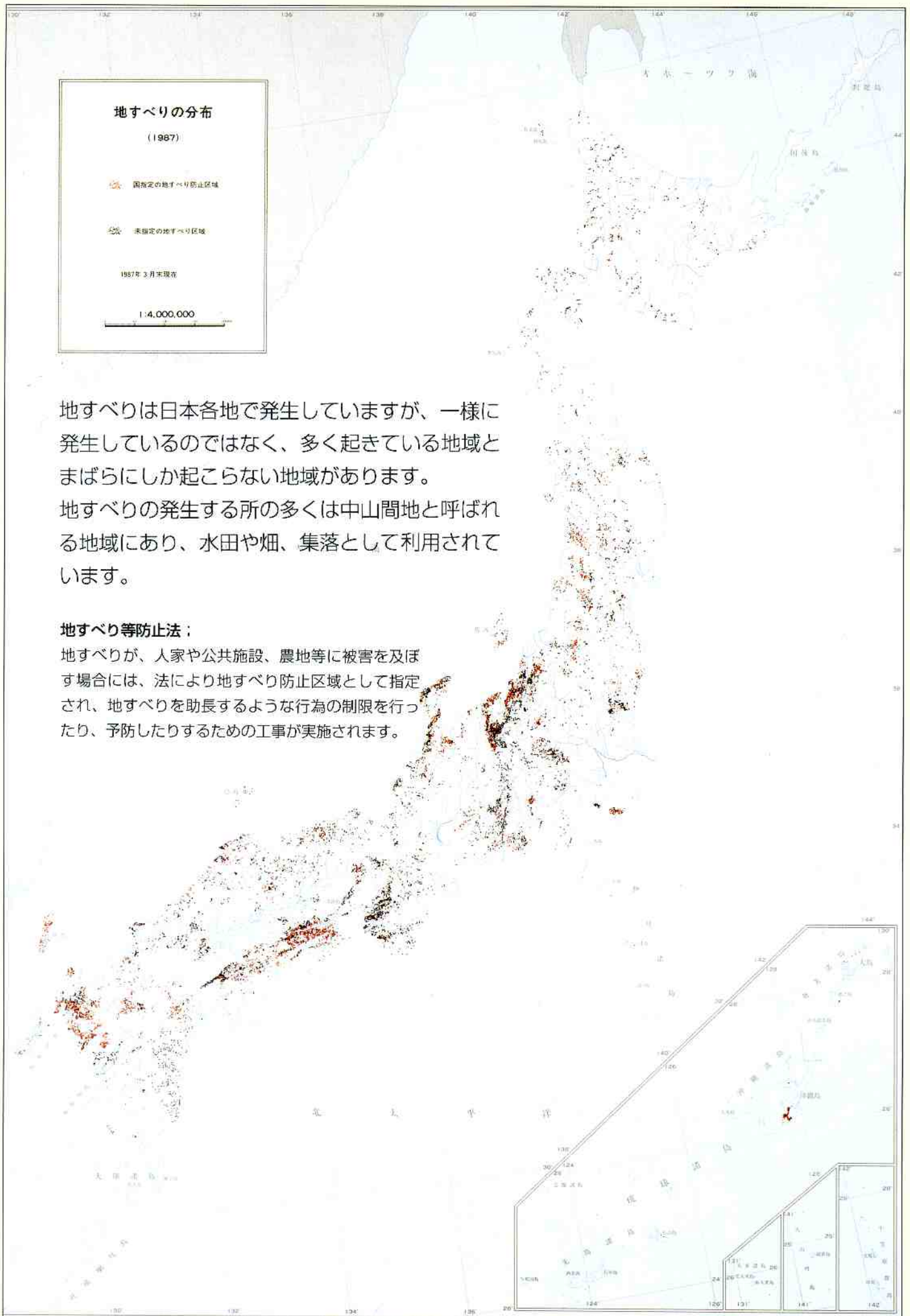
—地すべり地帯における農業の役割—



地すべりとは

豪雨や地震が原因で発生し、私たちの生活を脅かす土砂災害。地すべりは土砂災害のひとつです。





地すべりの分布

(1987)

● 国指定の地すべり防止区域

● 未指定の地すべり区域

1987年3月末現在

1:4,000,000

地すべりは日本各地で発生していますが、一様に発生しているのではなく、多く起きている地域とまばらにしか起こらない地域があります。地すべりの発生する所の多くは中山間地と呼ばれる地域にあり、水田や畑、集落として利用されています。

地すべり等防止法：

地すべりが、人家や公共施設、農地等に被害を及ぼす場合には、法により地すべり防止区域として指定され、地すべりを助長するような行為の制限を行ったり、予防したりするための工事が実施されます。

地すべりと農業

人はなぜ地すべり地帯に住むのでしょうか

中山間地域の平地の乏しい地形条件のもとで生活する人々にとって、周囲と比べて傾斜が緩やかで水が豊富な場所は、生活するのに便利で耕地としても利用しやすいため、昔から開発されてきました。

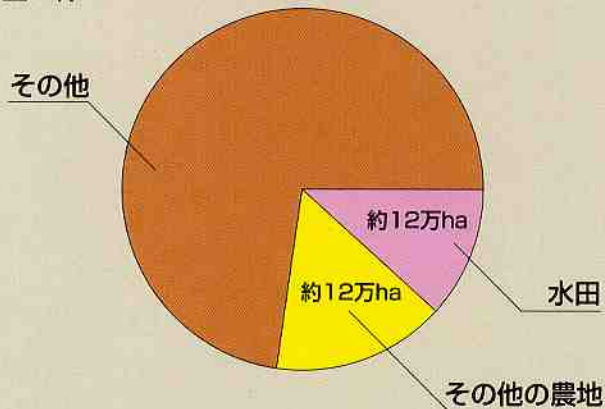
しかしながら、そのように傾斜が緩やかで水が豊富な場所の大部分は、地すべりによって出来たもので、地すべりの最も起こりやすい場所でもあります。

そこに住む人達は、長年の経験から、自分の住む土地が地すべりの起こりやすい場所であることを知っています。このため、田んぼのひび割れや河川のにごりなどの、地すべりの前兆に注意しながら、地すべり地帯にくらしています。

■ 地すべり地域内の農地面積

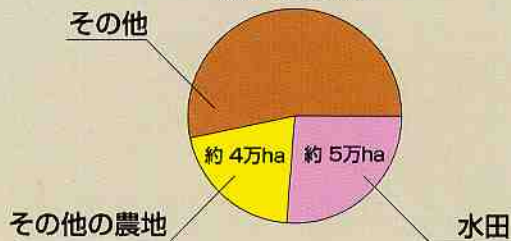
全体

総面積 約90万ha



構造改善局関連分

総面積 20万ha

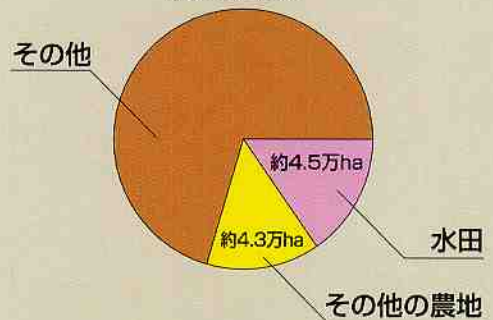


■ 地すべり防止区域内の農地面積

全体

総面積 30万ha

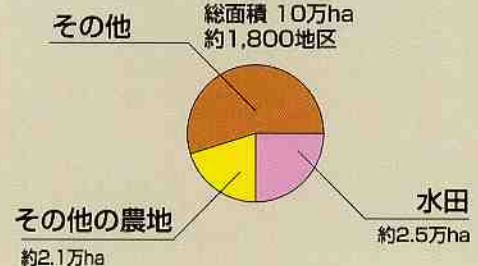
約6,500地区



構造改善局所管分

総面積 10万ha

約1,800地区



地すべり地域として 約24万 haの農地
約12万 haの水田が賦存 (推定値)

地すべり地では美味しい米が穫れる

地すべり地帯は危険な場所である一方で、
土層が厚く豊富な地下水を蓄えています。

地すべり地帯の水田はわき水を利用していることが多く、
ここで作られる米は美味しいと言われています。

耕作放棄の増加

近年、農業就業人口の減少や農産物の価格低下により、耕作されない農地、いわゆる「耕作放棄地」が増えてきました。

それにともない、耕作放棄地で発生する地すべりも目立つようになってきました。



耕作放棄状況：放棄後2年（構造改善局所管地すべり防止区域）



耕作放棄状況：放棄後20年以上（棚田の形跡が残っているのみ）



耕作放棄地の上部に発生したクラック

地すべり地に住む人たちは、耕作放棄と地すべりの発生には関係があると考えています。

耕作放棄と地すべり発生についての農家への聞き取り調査（新潟県板倉町）

孤立・不動新田地区

- 田の放棄後3年くらいで地すべり、畦畔崩れ等の災害が発生する。

猿供養寺地区

- 田の放棄地（荒地）は、地すべりを多く発生させる。

釜塚地区

- 田の放棄地が地すべりを誘発するケースがある。水路管理が出来なくなり、田面にひび割れが生じ地すべりにつながる。

大野新田地区

- 田の放棄地（荒地）は、地すべりを多く発生させる。水溜能力がなくなり、地すべりを誘発させる。

久々野、機織地区

- 転作、休耕、不在地主等の条件により不耕作地がふえ、地すべりを誘発することがある。（水管理が出来なくなり田が乾くとクラックが10cm程度の幅で入り、3年くらいで地すべりにつながる。）

栗沢地区

- 田の耕作放棄により荒地になり、保水能力がなくなり、2～3年後で地すべり、畦畔崩れ等につながる。

筒方地区

- 田の耕作放棄により、荒地となり2～3年後地すべりを誘発させることがある。

（出典）北陸農政局板倉農地保全事業所「地すべり地域実態調査委託業務報告書」

耕作放棄と地すべりの関係

～その1 防災担当者へのアンケート～

農林水産省構造改善局資源課においては、耕作放棄と地すべり発生が本当に関係があるのかどうかを調査するため、市町村の防災担当者に対するアンケート調査を実施しました。

構造改善局所管の地すべり防止区域内に100ha以上の農地を有する市町村（140市町村）を対象とし、①地すべり地帯における農業形態 ②地すべり地帯における耕作放棄の状況 ③土砂災害発生と耕作放棄の関係についての意見を求めたところ、134市町村から回答があり、全回答中8割程度の防災担当者が耕作放棄と土砂災害発生との間に『**関係がある**』と感じていることが明らかになりました。

